



暮らし・福祉・教育優先の市政をめざして

みんなが
住んでよかった
と思える川西市に...

たんぽぽだより

日本共産党川西市議会議員 **黒田みち**

市会議員団控え室 TEL740-1111 (内線4020)

直通FAX759-1811

黒田みち事務所 TEL 795-4760

たんぽぽだよりブログ

http://kurodamich.exblog.jp



市立川西病院



4月1日から協和会の管理に 患者大幅減など難題山積

市立川西病院は現病院のまま、4月1日から協和会の管理運営に移行しますが、職員全員解雇の中で職員を確保することの大変さなど危惧されていたことが次々表面化しています。本当に、このまま突き進んで大丈夫でしょうか。

入院患者 計画比18.4%減

今回の「構想」が突如発表されたのは2017年5月1日。翌2018年4月から協和会が引き継ぎのための職員を川西病院に派遣。今年4月から協和会の運営管理に移行します。

不安感から患者減少

こうした流れの中で、2018(H30)年度の決算見込みが明らかにされました。(表1)。十分な情報提供やていねいな説明がなく不安が広がる中で、入院患者は当初予算に比べ18.4%・12732人も減少し、外来患者も9.4%下回りました。

患者の減少、とりわけ収益の高い入院患者の減少によって病院の収益は悪化。医業収益は予算を13.9%下回っています。

一般会計から19億円補助

収益の悪化に対応し、一般

| | 2018(H30)年度補正後(決算見込み)概要より(円) | | |
|------------|------------------------------|----------|------------------|
| | 当初予算 | 補正予算 | 差額(当初比) |
| 入院収益 | 31億5500万 | 25億9900万 | ▼5億5600万(▼17.6%) |
| 外来収益 | 10億8600万 | 9億9500万 | ▼9000万(▼8.2%) |
| その他 | 4億5000万 | 4億4300万 | ▼687万(▼1.5%) |
| 医業収益 | 46億9200万 | 40億3800万 | ▼6億5300万(▼13.9%) |
| 一般会計から繰り入れ | 18億8900万(当初予算9億7000万・1.95倍に) | | |
| 入院1日当たり患者数 | 190人→155.1人 | | |
| 入院稼働率 | 81.2%→66.3% | | |
| 外来 | 420人→392.7人 | | |

会計からの繰り入れをあらたに約9.2億円追加し18.9億円に増額。当初予算9.7億円からほぼ倍増です。2017年度繰入額10.2億円に対して、「この負担に耐えられない」と強調していましたが、何のことはない、それを大きく上回る支援・補助をするのです。

2019年度も8.5億円支援

2019(H31)年度は、協和会管理に移行するため、入院、外来などの収入は協和会のものになり、市の病院事業会計では医業収入は原則ゼロに、経費も最小限になるはず

ですが、実際には各種支出があり、一般会計からの繰り入れは8.5億円にのびります。支出では、国からの交付金分を指定管理料として協和会に2.45億円支払うほか協和会との給与差額分を「人材確保対策交付金」として61億円計上。ほかに病院事業に係わる職員の給与費6600万円や修繕費、委託料などの経費8200万円など支出総額は9.7億円にのびります。(表2)

20億円で土地購入

資本的支出では、新病院予定地の購入17.12億円、設計など委託料2.29億円など合計22.65億円、20億円の企業債で賄う計画です。

協和会の川西病院3か年計画高すぎる計画。でも赤字

協和会は4月1日から川西病院の運営管理を始めますが、2019、21年の3か年計画をみて驚きました。計画は昨年7月にまとめたものと同じ。2018年度に患者が落ち込んだ事情などまったく考慮されていないのです。例えば2019年度の入院患者数の計画は前年度比28.2%増、入院収益は26%増などの高い伸び率。医業収益合計では11.1%増を見込んでいます。

それでも経常損益は赤字5.45億円となっています。2018年度を底に来年から浮上させるといふ成算があるのでしようか。医師や看護師などの態勢はどうなるか。医療の水準は保たれるか。市と協和会は指定管理後の状況をしっかりと説明する責任があります。

| | 当初予算 | |
|---------------------------------|----------|-------------------|
| 入院収益 | 32億7500万 | 入院1日当たり患者数 198.9人 |
| 外来収益 | 10億2400万 | 外来 ; 400人 |
| 医業収益 | 44億8700万 | 入院稼働率 85% |
| 経常損益 | ▼5億4500万 | |
| 市は、9億7200万円の支援・補助をする予定(国の交付金含む) | | |

黒豆の声

新年度の予算委員会が終わりました。最終本会議は26日に開催されます。新年度、病院だけでなく、市営斎場の指定管理者制度が7月から導入されることによってここで働く臨時職員さんは職場を追われ、正規職員は市役所勤務に異動します。

この4月からは突然、市役所駐車場が民間管理になり、シルバーの方々も職を奪われることになりました。駐車場の敷地を650万円で貸し、駐車場の儲けは民間企業のものとなります。いくら収入があったのかは明らかにしないとのこと。(病院駐車場と同じ仕組み)昨年度決算額が704万円。財政が厳しいと言いつつ、市民要求は叶いませんが、確実に民間事業者へ税金が流れる仕組みが広がります。

指定管理者制度導入に伴い
職員全員解雇・・・その後
*病院退職予定者 55名
*市役所へ異動予定者 55名
*協和会職員予定者 122名
(看護師・医療技術スタッフ)
※医師は24名協和会へ移籍予定

市役所は、新年度事務職採用なし。市役所への異動に伴い、臨時職員(4635日分)さんが雇用期間満了と言う名の雇止めとなります。(予算質疑資料より)

北部の二次救急病院をなくさないで!

